

令和7年度 学校関係者評価アンケート結果、分析・考察

西条市立禎瑞小学校

教	学校経営の重点目標(教職員)
児	学校生活についてのアンケート(児童)
保	学校評価アンケート(保護者)

評価
 A・・・4、3の割合が80%以上
 B・・・4、3の割合が60%以上80%未満
 C・・・4、3の割合が60%未満
 ↓ 5%以上の増減 ◊10%以上の増減

教職員・保護者：4=十分である 3=おおむね十分である 2=やや不十分である 1=不十分である
 児童：4=とてもそう思う 3=少しそう思う 2=あまりそう思わない 1=まったくそう思わない

分析・考察

- 1 教 ① 学習活動の充実により目標を立て自己を高める心を育成する。
 ② 運動に親しむ機会、心身ともに健康な児童を育成する。

児 自分は、健康に気を付け、進んで体力づくりに取り組んでいる。
 保 お子さんは、心身ともに健康でたくましく育っている。

	4	3	2	1	評価
教職員	① ↓25% ② 38%	① ↑75% ② 62%	① ↓0% ② 0%	0%	A
児童	54%	33%	9%	4%	A
保護者	↓59%	33%	0%	↓8%	A

運動会や持久走大会といった行事を通して、楽しく運動する機会をつくることができた。また、水泳や陸上など放課後の活動も多くの児童が積極的に取り組み、楽しく運動し体力を向上させることにつながったので、今後も継続していく。

- 2 教 家庭・地域と連携を密にし、望ましい生活習慣の定着を図る。

児 自分は、「早ね・早おき・朝ごはん」など、生活習慣が身に付いている。
 保 お子さんは、望ましい生活習慣を身に付けている。

	4	3	2	1	評価
教職員	38%	63%	0%	0%	A
児童	↓36%	↑48%	8%	8%	A
保護者	29%	54%	↑17%	0%	A

今年度も「いっぴ子カレンダー」を実施し、児童が自ら生活習慣を改善する機会を作り、保護者とも連携しながら望ましい生活習慣を身につけたり改善したりすることができた。今後も児童がより望ましい生活習慣を身に付けることができるよう、取り組んでいく。

- 3 教 他者と豊かに関わることができるコミュニケーション能力を持った児童を育成する。

児 自分は、自分自身や友達、家族や地域の方を大切にしている。
 保 お子さんは、自分や周りの人を大切にしている。

	4	3	2	1	評価
教職員	↓13%	↑87%	0%	0%	A
児童	60%	36%	4%	0%	A
保護者	↓38%	↑54%	8%	0%	A

教職員、児童、保護者ともに「人を大切にしている」と前向きに捉えているが、より高めるために、授業や学校生活の中で、話し合いや協力する活動を大切に、相手の思いに気付き力をつける。また、子どもたち一人一人の良さやがんばりを認め、自己肯定感を伸ばしていく。

- 4 教 人権尊重の精神を基盤とした人権・同和教育を推進し、思いやりの心や命を大切にする教育を推進する。

児 自分は、いじめを許さない気持ちを強くもっている。
 保 お子さんは、いじめや差別を許さない態度が育っている。

	4	3	2	1	評価
教職員	↓13%	↑87%	0%	0%	A
児童	63%	27%	8%	2%	A
保護者	↑42%	↑54%	0%	4%	A

道徳の時間を中心に、日々の学校生活の中でも人権・同和教育を行い、正しい行動について考える機会を大切にする。また、教職員の研修を行い、児童の変容を実感できる指導力の向上を図る。友達関係で不安を抱えている子どもには早めに気付き、丁寧に寄り添った支援を行う。

- 5 教 ふるさと禎瑞を「知る・体験する・発信する」学習を充実・推進し、進んで学び合う児童を育成する。

児 自分は、「ふるさと禎瑞」が好きだ。
 保 お子さんは、「ふるさと禎瑞」に関する学習や活動を通して、ふるさとを愛する心が育っている。

	4	3	2	1	評価
教職員	↑63%	↓37%	0%	0%	A
児童	75%	23%	0%	2%	A
保護者	↓38%	54%	↓4%	4%	A

今年度はお川狩りや奉納ずもうへの参加に加えて、150周年記念で禎瑞かるたを発表したり、禎瑞かるたで楽しんだりすることを通じて、禎瑞のことを知る機会が多かった。今後も、ふるさと禎瑞を愛する心情を培っていく。

6 **教** 「できる・分かる・楽しい」授業を実践し、基礎的・基本的な知識・技能の定着に取り組む。

児 自分は、学校の勉強がよく分かっている。

保 お子さんは、授業内容を理解し、学習内容が定着している。

	4	3	2	1	評価
教職員	↓ 13%	↑ 87%	0%	0%	A
児童	↑ 54%	40%	4%	2%	A
保護者	↓ 29%	↑ 54%	↓ 13%	4%	A

教職員、児童、保護者のいずれからも高い評価が得られ、授業内容の理解や学習の定着が進んでいることがうかがえた。今後も、ICTの効果的な活用や朝ドリル、「キーワード」や「字数制限」を意識した書く活動や説明する活動などを通して、一人一人の学びがより確かなものとなるよう取り組んでいく。

7 **教** ① 登下校時の安全確保、不審者侵入への対応、学校事故防止、非常変災時への対応など、児童の生命と安全を守るための体制づくりと指導の徹底を図る。

② 防災、防犯、交通安全等について家庭や地域と連携し、児童の危機回避能力を育てる指導の徹底を図るとともに、地域ぐるみの取組を推進する。

児 学校では、自分や友達の命や安全がしっかり守られている。

保 学校は、子どもの生命や安全を守るために、家庭や地域と連携している。

	4	3	2	1	評価
教職員	↓ 37%	↑ 63%	0%	0%	A
児童	↑ 88%	↓ 10%	2%	0%	A
保護者	↓ 38%	↑ 54%	8%	0%	A

保護者や地域の方の見守りやパトロールの協力が大変感謝している。児童が身の安全が守られていると感じていることが回答からも分かる。学校でも登下校の見守りや避難訓練などの防災教育を継続して行っていく。

8 **教** 確かな安全点検に基づき、危険箇所の迅速な改善と修理に努め、安心して学校生活を送ることができる教育環境を整備する。

保 学校は、子どもが安心して学校生活を送れるよう、教育環境の整備に努めている。

	4	3	2	1	評価
教職員	↓ 25%	↑ 75%	0%	0%	A
児童					
保護者	↓ 46%	↑ 50%	↓ 0%	4%	A

今年度も運動場や学校園等の環境整備を多くの保護者や地域の方の協力を得ながら進めることができた。今後も危険箇所等の把握に努め、児童が安心して学校生活を送れるよう、環境整備に努めていく。

9 **教** 一人一人の教育的ニーズに応じた適切な支援・指導を行う。

児 先生方は、自分や友達のなやみや相談をよく聞いて、力になってくれている。

保 教員は、一人一人の状況を把握し、適切な指導・支援を行っている。

	4	3	2	1	評価
教職員	↓ 15%	↑ 71%	14%	0%	A
児童	71%	17%	↑ 13%	0%	A
保護者	46%	38%	↑ 13%	3%	A

教職員、児童、保護者ともに高評価が多い一方で、相談しづらいと感じていたり、十分に支援が届いていないと感じている人もいる可能性がある。児童が安心して相談できる雰囲気づくりや環境づくりに努める。また、支援の方法を学校全体で共有し、組織的に支援を行う。

10 **教** ICTの活用や対話的な学習の推進により、授業力の向上を目指し、学び合い・育ち合うチーム学校を確立する。

児 先生方は、授業で分かりやすく教えてくれている。

保 教員は、分かりやすい授業づくりに努めている。

	4	3	2	1	評価
教職員	20%	80%	0%	0%	A
児童	↓ 69%	↑ 31%	0%	0%	A
保護者	63%	↓ 29%	4%	4%	A

頑強スタンダードを基に、授業の課題や改善点を話し合った。またICTの効果的な活用や学び合い学習について研修を行った。課題に対してさらに改善を行い、授業力向上につなげていく。

